

迎春



愛川町身体障害者福祉協会

会員の皆様
明けましておめでとう
ございます。

身障 あいかわ

愛川町身体障害者福祉協会会報

題字 愛川町長 小野澤 豊

発行
愛川町身体障害者
福祉協会

謹賀新年

会長 佐川福造
新年明けましておめでとう
ございます。



身障協会会長
の佐川です。
会員の皆様には元旦の素晴らしい陽光の

ごとくお正月をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

昨年五月に身障協会の会長
を受け継ぐこととなりました。
会長として様々な会議や研修
会などがあり詳細のことがよく
解らず苦労しているところ
です。

しかし協会活動には積極的
に携わり会員皆様とともに良
きコミュニケーションを図り
協会の発展に尽くす努力をし
て事業の執行にあたっており
ます。

昨年十月の町福祉体育大会
には多くの会員の方に参加し
ていただきありがとうございます。

ました。

この様な活動(県身連、町の
行事、地域)を通じて福祉団体
や地域社会との行事活動など
へ協力参加をして地域とのコ
ミュニケーションを図り身近
な方々の中から協会への理解
をして頂き仲間づくりの活動
をしましょう。

今年もみなさまが良い
年でありますように

神田前会長へ町長表彰



色々な分野で町
の発展に功績を
残された方々の
表彰です。

神田前会長は

多年にわたり身障協会の会長
など要職を歴任され、協会の
円滑な運営に寄与されると
もに障害者の自立促進に多大
な貢献をされたとして一般功
労者として表彰状と記念品が
授与されました。
大変おめでとうございます。
健康に気を付けて協会の発展
のため助言をお願いします。

神奈川県福祉大会で

県身連会長賞受賞

十月十五日海老名市民ホー
ルで開会された神奈川県身体
障害者福祉大会で愛川町から

永年の地域福祉活動功労者と
して大矢美代子さん、萩野き
わ子さん、原和子さんの三名
に県身連会長賞が授与されま
した。協会の活発な活動とし
て仲の良い女性部を永年にわ
たって育ててこられたことが



身障協会の運営にも大きな支
えとなっております。

本当におめでとうございま
す。この大会には十八名の会
員が参加して祝福しました。

これからも協会の発展に
尽力をいただき良き後輩を育
ててますますの女性部の活躍
をお願いいたします。

受賞の御礼のことば

半原 大矢美代子

十月十五日



海老名市文化会館において県身連福祉大会が開催され愛川町から萩野きわ子さん、原和子さんとともに県身連会長賞を頂きました。

これも会員の皆様との関係の中で築き上げたものと思えます。本当に有難う御座いました。不自由な体にムチ打ちながら皆に迷惑をかけながらここまで来られたこと感謝しています。

これからも色々あると思いますがどうぞよろしくお願いいたします。

愛川町社会福祉大会

十月二十八日愛川町文化会館において開催されました。

席上、協会会員の吉川文子さんが長年の地域役員として福祉に貢献されたことで福祉功労賞が小野澤町長から授与されました。

地道な活動ですが協会の役員として女性部のリーダー

を補佐し又クラブ活動の役員として会の運営、地域の理事として発展に力をいただきました。当日会員一六名が式典に参加して受賞者を祝福しました。これからも健康に留意され、ご活躍をおねがいします。

小野澤町長より表彰を受ける吉川さん



式典は福祉関連事業に功績のあった個人および団体・事業所に対し小野澤町長・萩原社会福祉協議会会長から賞状が授与されました。また小中高生の福祉作文、ポスターの優秀作品の披露と表彰がありました。

最優秀作文は本人が朗読して感動を与えました。

第2部のアトラクションでは迫力の津軽三味線や軽快な漫才、人気歌手の真木ことみさんの演歌で盛り上がりしました。

福祉体育大会へ参加

十月十八日三増陸上競技場で愛川町の福祉団体、民生委員、町議会議員の参加のもと盛大に開催されました。身障協会も母子福祉会と合同チームで元気に参加しました。女性部の近年にない多数の参加者で各競技にも熱がこもり熱戦が繰り広げられました。



得点競技には各チーム陣営から熱い声援が飛び交い久しぶりに大声を出し若い気分になりました。

わがチームも和気あいあい競技に参加し順位は二の次としていましたがゲートボール競技は盛り上がり好成绩でした。

総合成績はそれなりで参加に意義がありました。夜は筋肉痛を感じながら熟睡しました。

県身連富士登山に参加して

参加して

田代 門田敬子

県身連の富士登山が七月十二日に開催されました。

私はこの日を「どうか晴天であってほしい」と心待ちしておりました。

朝七時愛川町役場に相模原、座間の会員を乗せたバスに乗り途中厚木の仲間が同乗する五号車で出発し十一時に富士山五合目駐車場に到着「さあ、



いよいよ登山開始」と意を決して六合目をめざして登り始めました。

登りはじめは佐川さん、武富さん、鈴木さんの男性三人と私と楽しくお喋りしながら登りましたが、起伏が続く中それぞれマイペースで登り、私は男性三人より単独で少し先を進みました。



足の健康のためにと毎朝ウォーキングを日課としていた私はそこそこの自信をもって挑んだのですが山道のアップダウンと急な斜面に思っていたより苦戦する始末、途中何

度も休んで休憩をとっては水分を補給し六合目をめざし進みました。

終盤は心の中で「1212」と自分自身を声を掛けながら登り、そして六合目に辿り着くことができました。



山はガスがかかり周りの景色を楽しむことは出来ませんでした。無事に目標地点に到着出来た安心感と心地よい疲労感、目標をクリア出来た事への喜びを感じながら持参したおにぎりを頬張りしました。

短いお昼ご飯の休憩後は元の五合目をめざして下山開始、

下りばかりの戻り道で「小石で足を滑らさないよう注意しよう」と自身に言い聞かせながら下りはじめました。

途中で副会長の武富さんと合流し、お喋りを楽しみながら出発点へと戻りました。

愛川町に帰り着く頃、両足の脛と腿に筋肉痛を感じながらも「今日は良い思い出が出来た」と大満足の一日でした。ありがとうございました。

門田さんと一緒に出発した男性三人は六合目手前の急坂に戦意を失い「登っても何も見えない」と勝手な理由を付けて下山はじめた。

六合目まで行ったのは柳川さんと門田さんの二人でした。

障害者週間に

協会活動展示

十二月の障害者週間に役場一階ロビーで町の福祉関連のNPO法人や福祉団体の日常活動を紹介するパネル等が展示されました。

身障協会からも協会紹介のパネルや総会、クラブ活動、バス旅行などのスナップ写真を展示しました。



また広報「身障あいかわ」女性部有志で作成した陶器や



趣味で書いた絵、編み物、ぬり絵等展示しました。

今後の行事

- ・ 四月初旬
年度末事業・会計監査本部
役員会(サポートセンター)
 - ・ 四月二十一日
役員会(サポートセンター)
 - ・ 四月二十六日
理事会(福祉センター)
 - ・ 五月二十日(予定)
総会(文化会館会議室)
 - ・ 身障者激励慰安会(場所未定)
 - ・ 春と秋のリハビリバス旅行
 - ・ 女性部独自行事計画
 - ・ カラオケ部は毎月半原老人福祉センターで活動
- 詳細はその都度関係者に連絡します。

リハビリ旅行クラブ便り

部長 武富正義

神奈川県福井バス「ともしび号」利用のバス旅行は東京スカイツリーと迎賓館本館見学をメインに行くことにし幸いにも迎賓館本館見学も抽選で当たり準備も整いました。その後アメリカのトランプ大統領の来日が決まり迎賓館の見学は出来なくなり浅草から上野方面に計画変更しました。



県の担当者と最終打ち合わせで浅草は大型バスの駐車場がない事や人が溢れて方向音痴になり時間内集合が難しいことで上野公園とアメ横での買い物に変更しました。

当日天候に恵まれ、皆さん嬉々として町文化会館前に集合し 8 時に出発しました。東京スカイツリーの駐車予約は十時から二時間とり余裕と思っていきましたが、トランプ大統領が韓国に行くため道路規制が厳しく大渋滞となりバスは全く動かない。結局スカイツリーに着いたのは一時間遅れで到着、駐車場利用を三〇分延長の対策をとって第一展望台へ上りました。



とができました。十三時に上野に向かうためゆつくり出来ず急いで食堂街で昼食をとりました。上野公園も大型バスの予約制がなく当日の状況で決まるとの事。バスはアメ横商店からだいぶ離れた国立博物館辺りで止まりアメ横まで結構歩く距離、西洋美術館や博物館の見学もできる十五時までの自由時間としました。皆んな歩き疲れた様子でした。バスは予定時間に上野を出発して東京のビル街を眺めながら帰路につきました。皆さん大変お疲れさまでした。

ぬり絵を始めたきっかけ

半原 大矢美代子

女性部の行事で「ぬり絵しましょう」と言われた時がありました。・そのころ私は足の調子が悪くプールにもはいれなかった。

ポツカリ空いた時間、何もしないでいたら自分の体がどんどん老いていく気がして、そして取り出したのがぬり絵だった。心ワクワクさせたいソールへ、そこで出会ったのがぬり絵の本だった。色鉛筆で絵を染めていく色の組み合わせなど考えながら綺麗に染まってく絵がとて

も楽しい時間がすぎるのも忘れ夢中になれる。特に雨の日



など外に出られない時は時間を上手に使える様な気がします。皆さんもやってみてはいかがでしょうかですか。本当に楽しいです。

福祉団体合同賀詞交歓会

愛川町の文化会館三階大会議室において一月十三日開催されました。身障協会から十六名の役員が代表として参加しました。

編集後記

会員の皆様、広報「身障あいかわ」へ新聞記者のようにどしどし記事を送ってください。パソコンで編集を覚えたい方は武富まで連絡ください。紙面造りの楽しさを共有したいし後継者を育てたい。